

エキスパート登録 **専門家から**の  
**ワンポイント**  
**アドバイス**

有限会社中庭情報サービス 代表取締役 ITコーディネータ

中庭正人

【略歴】

システムエンジニアとしての経験と地方住宅ビルダー経営の経験を生かし、経営者とITを結びつける経営情報コンサルティングを行う。



## 身近なデジタル化への取り組み

デジタル、DXなどのキーワードが様々なメディアで話題となっています。新型コロナウイルス感染症が蔓延し、テレワークへの取り組みや政府の新型コロナ対策の取り組みから、日本のデジタル化の遅れが明確となりました。

DX (Digital Transformation) とはデジタルによる社会、企業の変革を意味します。

DXは、スウェーデン ウメオ大学 エリック・ストルターマン教授が2004年に初めて提唱しました。IT・デジタルが社会をより良い方向に変えていく概念をさします。

スマートフォン、インターネットを介した様々なサービスなど、デジタル技術が私たちの社会を急速に、ダイナミックに変えています。マイナス面もありますが、これまでになかった新しいサービスが生み出され、SNS等により世界がつながり、新たな市場を生み出しています。今後もデジタル技術の発展により、より良い社会へと進んで行くことを期待しています。

ただし、これら人の暮らし方を変える社会の急速な変化は、様々な業界、企業に多大な影響を及ぼします。この変化がチャンスにつながるか、脅威になるかは業界や企業ごとに違います。

これら社会変化をチャンスとして取り込めれば、これまでの業界の常識をひっくり返すようなサービスの提供も可能になります。逆に、マイナスとして影響を受けると企業の存在が危うくなることもあるでしょう。これら変化をチャンスに結びつけ生き残るために大企業は積極的にDXに取り組んでいます。

一方、中小企業においては、ヒト、モノ、カネに限りがあります。特にデジタル化人材が不足しており、大企業と同じようなDXへの取り組みは難しい状況です。中小企業はどのように取り組むべきでしょうか。まずは身近なところから始めることが必要です。

最近のデジタルサービスは、クラウド化により必要な時だけ料金を支払う“サブスクリプション”での提供が増えています。これらクラウドツールの組み合わせによって、安価に素早くIT環境を整えることが可能となっています。中小企業では、これらデジタルサービスを積極的に活用すべきです。取っ掛かりとしてグループウェア、クラウド会計、クラウドデータベース等の活用をお勧めします。

まずは始めてみてください。“違う”と思ったら利用を中止すれば良いのです。

なぜ“違う”のか？当社はどうしたいのか？などの気づきが次のデジタル化へのヒントとなります。

これらデジタル活用の取り組みを続けていくことで、デジタル化人材が社内に育ちます。

社内のデジタルツール活用のリテラシーや、育成されたデジタル人材が、環境の変化に対応し企業のデジタル化を推進する力となるでしょう。

## エキスパート・バンクとは？

各分野の専門家が、経営上・技術上の様々な問題に対して、直接事業所を訪問し、問題解決に向けての支援・アドバイスを行います。

例えば、

ターゲットとする顧客層に最適なSNSの活用方法を知りたい。  
 クラウドサービスを導入するにあたって、運用ルールを決めておきたい。  
 といった取り組みを応援します。

**1テーマ2回まで無料となっておりますので、是非ご活用ください。**

■ ご相談・お問い合わせは、最寄りの商工会まで ■